

# 第1学年 英語科学習指導案

対象 1年3組 男17名, 女18名 計35名  
指導者 大森 弘恵

## 1 単元名 Program8 Origami (開隆堂 Sunshine English Course1)

### 2 単元について

#### (1) 生徒について

本単元に関わる, 既習事項とこれまでの活動体験について事前アンケートを行ったところ, 次のような結果となった。

小学校ではcanを用いてどのような外国語活動を行ったか。	インタビュー	37% (35人中13人)
	発表	12% (35人中4人)
	覚えていない	51% (35人中18人)
小学校の外国語活動で印象に残っていることは何か。(複数回答可)	ゲーム	40% (35人中14人)
	桃太郎を英語で読んだ, 絵を描いて伝えた	29% (35人中10人)
	カルタ	23% (35人中8人)
	その他(交流, 映像, 歌など)	35% (35人中12人)
折り紙で何か折ることはできるか。	折れる(鶴, 手裏剣, 紙飛行機など)	86% (35人中30人)
	折れない	14% (35人中5人)

アンケートから生徒たちは小学校での外国語活動を通して, 外国語でコミュニケーションをすることの楽しさを身につけてきていると思われる。今回の単元では, 外国の人たちに折り紙を紹介するポスター作りを通し, 日本の伝統文化を伝えることの楽しさを感じさせながら学習活動に取り組ませたい。

#### (2) 教材について

本単元は, 大介が折り紙で折った作品の紹介, ウッド先生との折り紙についての対話, ウッド先生の折り紙との出会いを思い出す場面から成り立ち, 生徒が折り紙の楽しさと珍しさに気づくことができる内容となっている。また, 言語材料としては能力を表す助動詞 **can** と手段・方法をたずねる疑問詞 **how** が取り上げられていることから, 折り紙を活用して, 生徒同士の交流を深めさせ, さらに日本文化の良さを外国の人たちに伝える活動に取り組ませることが可能である。

本単元に関わる既習事項は, 小学校6年生での外国語活動 Lesson3 の **I can swim**. 「できることを紹介しよう」である。生徒たちはお互いのことをインタビューしたり, 自分のできることを発表したりすることを通して, **can** を用いた表現に慣れ親しんできた。

本単元では, 小学校で慣れ親しんだ **can** が, 折り紙で何を作れるかという表現として多く用いられている。本文の表現を参考にしながら, 折り紙を紹介するポスター作りを通して, **can** の表現に習熟させるとともに, 日本文化を英語で伝える力を身につけさせたい。

本単元を中心とする指導事項として, 書くことア「関心のある事柄について, 簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。」を取り上げる。小学校での既習を踏まえ, 口頭でのやりとりと書く活動を継続して行うことで, 書くことの習熟につなげていきたいと考える。

#### (3) 指導について

本単元では, 外国の人たちに折り紙を紹介するポスターを作ることを学習のねらいとする。単元の導入時には, 単元のゴールを示し, それに向けての学習の進め方について確認する。単元の学習では, 折り紙で何を作ることができるか交流や対話を通して表現の習熟を図り, 外国の人たちに折り紙を紹介するポスターを作ることを意識させながら, 学習を進めさせたい。また, 教科書本文の内容理解では, 折り紙を紹介する際に使用できる表現にも注目させ, 活用できる表現を抜き出しながら, 学習に取り組ませ, 本単元のねらいに迫らせたい。

### 3 単元の目標

(1) 外国語表現の能力

- ・日本の伝統文化である折り紙を外国の人たちに紹介するポスターを作ることができる。
- ・折り紙で折れるものについて対話することができる。

(2) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・ペアワークやグループワークにおいて間違うことを恐れずに話することができる。

(3) 言語や文化についての知識理解

- ・助動詞 can と疑問詞 how 用いた文の意味、構造を理解することができる。

### 4 指導と評価の計画

時	学習内容	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	言語や文化についての知識・理解	
小5	クイズを通して、あるものが何かを尋ねたり、答えたりする。	間違うことを恐れずに、話そうとしている。			
小6	自分のできることを話す。友達にできるかどうかインタビューする。	間違うことを恐れずに、話そうとしている。			
中1	1	自分のできること、できないことを言えるようにする。		能力を表す can を用いた文の意味・構造を理解している。	
	2	折り紙で折れるものを紹介する。	間違うことを恐れずに、話そうとしている。	折り紙で折れるものを紹介することができる。	
	3	折り紙で折れるものをたずねたり、答えたりする。			能力を表す can を用いた文の意味・構造を理解している。
	4	本文の対話文を参考に、折り紙について対話をする。	間違うことを恐れずに、話そうとしている。	本文の対話文を参考に、折り紙について対話することができる。	
	5	どのようにするのか尋ねたり、答えたりする。			疑問詞 how を用いた文の意味・構造を理解している。
	6	折り紙で折ったものを交流し合う。	間違うことを恐れずに話そうとしている。	本文の対話文を参考に、折り紙について対話することができる。	
	7 【本時】	折り紙を話題にした教科書本文を参考にし、外国人に折り紙を紹介するポスターを作る。	教科書本文を参考にし、折り紙を紹介するポスターを作ろうとしている。	外国の人たちに折り紙の良さが伝わるように工夫して書くことができる。	
中3	外国の人々に日本の行事やお祭りを紹介するポスターを作る。	紹介したい行事やお祭りについて、辞書などを活用して書こうとしている。	紹介したい行事やお祭りについて、分かりやすく伝えることができる。		

## 5 本時の指導

### (1) 目標

折り紙の良さが伝わるように、折り紙を紹介するポスターを作ることができる。

### (2) 評価規準

評価の観点	評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	教科書本文を参考にして、折り紙を紹介するポスターを作ろうとしている。
外国語表現の能力	折り紙の良さが伝わるように工夫して書くことができる。

### (3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 7分	<p>1 帯学習を行う</p> <p>(1) Let's chant(すらすら英単語)</p> <p>(2) Small talk (can を用いた QA)</p> <p>2 課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     外国の人たちに折り紙の良さを伝えられるように、折り紙のポスターを作ろう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ペアがない生徒への配慮をする。</li> <li>● can を用いた表現を想起させる。</li> <li>● 授業の流れを把握させる。</li> </ul>
展開 38分	<p>3 課題の解決</p> <p>(1) 折り紙を紹介する時に活用できる表現を確認する。</p> <p>①折り紙で折ったものの名前を紹介する時。</p> <p>②折ることができる、できないを伝える時。</p> <p>③様子や感想を伝える時。</p> <p>(2) 折り紙を紹介する文を書く。</p> <p>・確認した表現をもとに、3文以上で書く。</p> <p>(3) 4人グループで紹介文を聞き合い交流する。</p> <p>(4) 紹介文を完成させる。</p> <p>・グループでの交流をもとに改善を加え、紹介文を完成させる。</p> <p>(5) グループで交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既習事項を想起させながら、活用できる表現を確認する</li> <li>①This is ~.</li> <li>②I can make ~. I can't make ~.</li> <li>③It is ~.</li> <li>● 折り紙の①作品名②折れる・折れない③良さを伝えられるように意識して取り組ませる。</li> <li>● 紹介文を聞いて、良い点、わかりにくい点について指摘し合い、改善を図らせる。</li> <li>◎ 折り紙の良さが伝わるように工夫して表現している。(学習シート)</li> <li>◎ 本文を参考にして、折り紙を紹介する文を書こうとしている。</li> <li>● 完成させたポスターを、グループで読み合い、折り紙の良さが伝わる紹介文になっているか交流させる。</li> </ul>

	<p>【ポスターの文例】</p> <p>This is a crane.          Can you make it?          I can make it.          It's very beautiful. (4文)</p>	
終末 5分	<p>4 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の紹介文を読んで、感じたこと発表する。</li> <li>・ 振り返り用紙に記入する。</li> </ul>	● 書き出しを与えて記入させる。
	<p>【振り返り 例】</p> <p>・ 友達の紹介文を読んで、いろいろな紹介の仕方があることがわかった。紹介文には、質問を入れることで、やってみたいと思うきっかけにさせるものがあった。また、さまざまな種類の作品があって、折り紙でたくさんのもので折れることが分かった。この単元では can の学習をして、折り紙の紹介をすることができたので、これからも他の日本の文化などについて紹介してみたいと思った。</p>	
	5 次時の確認	

(4) 板書計画

Friday, November 2, sunny

P8-7 学習課題

外国の人に折り紙の良さを伝えられるように、折り紙を紹介するポスターを作ろう。

見通し

1. Surasura
2. QA
3. Writing
4. Reading
5. Reflection

活用できる表現

①名前を紹介する時

- ・ Look at this. It is ~.
- ・ This is ~.

②できる、できないを伝える時

- ・ I can make ~.
- ・ I can't make ~.

③様子や感想を伝える時

- ・ It's great.
- ・ It's difficult.
- ・ It's very beautiful.

自分の考え

交流・ 1つを紹介する時は this is  
 2つ以上は these are

- ・ It's fun. →良さが伝わる。
- ・ Can you make ~? (問いかけ)  
 →興味をもってもらえる

まとめ

A さんの  
紹介文

B さんの  
紹介文

C さんの  
紹介文

振り返り 「友達の紹介文を読んで・・・」